事業番号	04　04　09	事業改善シート（26年度実施事業分）	■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

事業名	医学生修学資金等貸与事業	担当課	部局	健康福祉部
			課・室	医療推進課医師確保対策室
総合5か年計画	プロジェクト：4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト		E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開：6-1　健康で長生きできる地域づくり 3　医療従事者の養成・確保			
			実施期間	H18　～

1 事業の概要

目指す姿

全国的な医師不足の中で、修学資金等の貸与を受けた医学生等が、将来知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務することにより医師不足の解消を図る。
　成果目標：人口10万人当たり医療従事医師数　205人（H22）　⇒　230人（H29）

現状

依然として県内の医療機関における医師不足が続く中で、中長期的に医師を確保し、県内の医師不足病院等への配置を行い、医師の絶対数の確保と地域偏在の解消を行う必要がある。

県が関与する理由

県でなければ実施不可（法令等義務）
県民との協働による実施：困難

【左記の説明、根拠法令等】
県内の医師不足の解消を目的として、医学部定員増を条件として県が実施することとされている。
長野県医学生修学資金貸与規程、長野県臨床研修医研修資金貸与規程、地域医療再生計画

事業内容

① 成果目標（H26）

新たに医学生に貸与を行い、貸与者総数を増やすことにより、将来知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務する医師を確保する。

② 事業内容　（単位：千円）

項目	実施方法	H26実施内容	H25（当初）	H26（要求）	H26（予算案）
1. 医学生修学資金貸付金	直接	将来県内の医療機関の医師として勤務しようとする医学生に対し、修学資金を貸与 ・貸与月額20万円 ・貸与期間の1.5倍、知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務した場合に返還免除	288,000	292,800	
2. 臨床研修医研修資金貸付金	直接	産科、小児科を目指す臨床研修医に対して研修資金を貸与 ・貸与月額20万円 ・貸与期間の2倍、知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務した場合に返還免除	2,400	2,400	
		合計	290,400	295,200	0

事業コスト

区分（単位：千円）		23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案
予算額	前年度繰越					
	当初予算	225,600	254,400	290,400	295,200	
	補正予算					
	合計（A）	225,600	254,400	290,400	295,200	0
Aの財源	国庫支出金					
	県　債					
	その他（繰入金）	28,800	45,600	62,400	64,800	
	一般財源	196,800	208,800	228,000	230,400	0
決　算　額（B）		219,600	249,600			
概算人件費	職員数（人）	2.00	2.00	2.00	2.00	
	概算人件費（C）	16,516	16,516	16,516	16,516	0
概算事業費（B（A）+C）		236,116	266,116	306,916	311,716	0

成果目標の達成状況

項目	H25末（見込）	H26 目標	H26 成果	H26 達成状況	H27 目標
医学生修学資金等貸与者総数	113人	123人			
義務年限履行者数	27人	40人			

指摘事項等への対応
□監査
□決算特別委員会
□県民協働による事業改善

（指摘事項等）

（対応）

要求からの主な変更点